

表2 海宮訪問譚（海幸山幸神話）表

	古事記	日本書紀本書	書紀「一書」第一	書紀「一書」第二	書紀「一書」第三	書紀「一書」第四
海幸彦	ホデリ	ホノスソリ	ホノスセリ	兄 (海幸山幸の言 明なし)	ホノスセリ	ホノヲリ(弟)
山幸彦	ホヲリ	ヒコホホデミ	ヒコホホデミ	ヒコホホデミ (海幸山幸の言 明なし)	ヒコホホデミ	ホノスセリ (兄)
服属譚	守護人 種々の態	俳優の民 (吾田君小橋等 が本祖)		(奴僕・)俳人・ 狗人 天皇の宮に犬 となって奉仕 (ホノスセリの 苗裔、諸の隼人 等)	弟に帰伏 手を挙げ溺 れ苦しむ	俳優者 具体的な踊 りの所作の 描写
備考	※隼人の阿 多君が祖					※海幸・山幸 の役割が通 常と逆。